

- 会議名 令和3年度 第1回八雲町社会教育委員会議
- 日 時 令和3年5月26日(水) 午後6時30分～7時30分
- 場 所 八雲町公民館 第1・2集会室
- 出席委員 10名
西田浩人、田中登、太田浩司、鈴木馨、吉田久子、小林元彦、小出政彦
小西雄一、今西千代子、木村さえ子
- 説明員 教育長、社会教育課長、社会教育課長補佐、社会教育係主事、
文化財係主任
*傍聴者なし

《会議録要旨》

- 1 開 会 社会教育課長
- 2 あいさつ 八雲町教育委員会 教育長 土井 寿彦
八雲町社会教育委員 委員長 小林 元彦
- 3 委員紹介 自己紹介
- 4 職員紹介 省略
- 5 議 題
1) 報告第1号 令和2年度八雲町教育委員会社会教育課・熊石教育事務所所管事業
実施報告について

○説明員から説明する。

◆質 疑

委 員～木彫り熊講座の決算額について、昨年より10万円ほど多いがその理由は何か。

説 明 員～木彫り熊講座用の木材の購入により10万円ほど多くなっている。

2) 議案第1号 令和3年度八雲町教育委員会社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画について

○説明員から説明する。

◆質 疑 なし

3) その他

- ①令和2年度八雲町社会教育委員各部会活動報告について
- ②令和3年度八雲町社会教育委員各部会活動計画等について

○説明員から説明する。

◆質 疑 なし

③その他

◎今後の社会教育事業について（説明員より）

「公民館生涯学習講座」について意見を伺うこととした。

・別紙 広報用チラシを各委員へ配布。

新規受講者の割合：3割程度

ほぼ毎回同じ受講者で行われている講座もある旨説明。

・各委員からの意見等 別紙のとおり

◎社会教育委員報酬について

・説明員より令和2年度からの金額変更について説明

【別 紙】

・委員

新規の受講者が3割いるのは良いことと思う。

Q：定員を決めているが、定員が少ないと新たな参加者が受講できないということはあるのか。

A：ほぼ定員以内であるが、定員がオーバーした時については、講師と相談して対応している。

・委員

公民館講座は他の市・町から見ると受講料が安い。

講座にもよるが、町民のニーズに応えるために、講座の細分化を検討してはどうか。例えば、絵画であれば水彩・油彩・デッサンなど。

また、10年以上継続している受講生でも、そのまま続けてほしいと言う方もいる。できればそのまま続けてほしい。

子ども対象の講座を増やしてはどうか。子どものときに経験することによって、大人になってから、再度受講することにもつながると思われる。

・説明員

社会教育事業は歴史が長い。求められて、良いものがあるから続いていると思うが、今後として自主活動やサークル活動へ移行していければと思う。事業の見直しをしていくにあたって、どんな視点が必要か意見をいただきたい。

・委員

はなます画会はだんだん高齢化してきたため、声かけで会員を増やし10人程度集まった。現在は18人で、講座をきっかけにして集まっている。講座はサークルの入口というとらえ方もあるのではないかな。

・委員

熊石地域と違い、八雲地域は多くの講座があり良いことと思う。

熊石地域は年間2～3程度のものしかないので、熊石地域でも講座の開催ができたらいいと思う。

・委員

落部地域も熊石地域と同様である。

・委員

講座からサークルへの移行については以前にも話題にのぼったことがある。

活動の最初としての講座の位置づけは良いと思う。

講座を何年で卒業するのかなど、ルールをどうするのか課題が多い。

- 説明員

青年活動リーダー研修会で講師として呼び出した ezorock 代表理事の草野氏から、関係人口を増やすことが大切ということが話された。八雲町民ではなくても、八雲の応援団を増やすという視点からみると、八雲町は単身の転勤族が多いので、八雲に住んでよかったと思えるようにするために、どんな事業をしたらこういった方々に関わってもらえるだろうか。

- 委員

木彫り熊講座はぜひ継続してほしい。

篆刻講座は初めての人にはハードルが高いと思う。初級編があると良い。

講師には徐々にレベルを上げてもらうなど、工夫も必要ではないか。

- 委員

熊石地域の小・中学校から「ふるさと音頭」を教えてほしいという依頼があり、熊石レディースネットワークで教えている。熊石地域には良いところがたくさんあり、地元の良いところを知ってほしい。子どもたちに教えて良かったと思う。

- 委員

文化団体連合会も会員の高齢化により先細りしている状況である。講座受講生から始まり、サークルへ移行し、文化団体連合会への加入、文化祭への参加という流れがあれば、団体としても嬉しい。

- 委員

自分は転勤でいろいろな市、町に行っているが熊石地域の「ゴミの分別」が2種類であることには驚いた。熊石地域ならではの講座（海釣り、登山、温泉めぐり）や日常的なものの講座（コーヒーの淹れ方など）があると参加したくなるのではないか。

また、講師をめざす上級講座など特化してもよいのではないか。